

科 目 続・植物で読む源氏物語

講師名 塚内 千寿子

昨年度に開講した企画講座の続編ですが、前回とは異なる内容です。初めて受講される方にも楽しんでいただける内容ですので、『源氏物語』や植物に興味のある方はぜひご参加ください。

「源氏物語」の中の花や草木は、単なる「植物」としてでなく約束事を担って描写されることが多いです。原文の解釈をしながら、それを考えていきましょう。

ダイジェスト版としても物語を楽しめるよう、名場面を切り取り、「巻」の若い順から並べてみました。

今回の講座の登場人物は…

源氏・空蝉・夕顔・紫の上・六条御息所・朝顔・玉鬘・萤兵部卿宮・夕霧・落葉の宮・三の宮（匂宮）

【会場】中央くすのきカルチャーセンター

【曜日】第2・4木曜日

【時間】9:00～11:00

【教材費】500 円（コピー代 ほか）

【定員】30 人

【指導内容または作品名】

回	月日	植物名	巻名	解説
1	10/22	ははきぎ 帚 木	帚木（2 巻）	中の品の女性「空蝉」に恋する源氏。近づくと逃げる女を伝説の木にたとえる。
2	11/12	夕顔	夕顔（11 巻）	謎の女性との出会いはこの花から。宮中育ちの源氏が初めて目にした夕顔の花。
3	11/26	むらさき	若紫（5 巻）	引き歌を踏まえて、藤壺ゆかりの少女への想いを「むらさき」に託す。女主人公「若紫」登場。
4	12/10	あさじゅう 浅 茅	賢木（10 巻）	荒涼たる秋の風景と登場人物の心情が「浅茅」の描写に重なる。美しい文章。
5	12/24	忘れ草	須磨（12 巻）	別れの悲しさを「忘れ草」に託す。この花を摘むとどうなるか。
6	1/14	朝顔	朝顔（20 巻）	源氏から積年の恋心を訴えられた時、誇り高い女性は朝顔に託して拒む。
7	1/28	あやめ 菖 蒲	萤（25 巻）	「あやめ」にこめられた言葉の意味を考える。幻想的な場面を楽しみたい箇所。
8	2/11	蓮	若菜・下(35 巻)	「蓮」が象徴するもの・事について考える。
9	2/25	柏	柏木（36 巻）	柏は神聖な木。この木を前に亡き親友の未亡人に恋を打ち明ける夕霧。その返事は？
10	3/11	梅・桜	御法（40 巻） 幻（41 巻）	先が短い事を悟った紫の上が、孫の三の宮に託した梅と桜。寂しい六条院の世界での心温まる描写。